

平成 29 年度

事 業 報 告 書

平成 29 年 4 月 1 日から
平成 30 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本動物園水族館協会

第1章 協会の概要

I 設立年月日

昭和14年11月17日 任意団体として発足

昭和40年11月22日 文部省社会教育局(現在は文部科学省生涯学習政策局)所管の社団法人となる。

平成24年4月1日 公益社団法人へ移行

II 定款に定める目的

本公益社団法人は、動物園、水族館事業の発展振興を図ることにより、文化の発展と科学技術の振興並びに自然環境の保護保全に貢献し、もって人と自然が共生する社会の実現に寄与することを目的としている。

III 定款に定める事業内容

1. 動物園水族館に関する調査研究事業
2. 動物園水族館に関する教育普及事業
3. 動物園水族館に関する種保存事業
4. 動物園水族館に関する支援事業
5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

IV 監督機関に関する事項

内閣府公益認定等委員会

V 会員の状況

1. 会員の現状

種 類	平成29年度末	前期末比較増減	備 考
正会員	151名 (動物園91、水族館60)	動物園 +2 水族館 ±1	入会 岩手サファリパーク 那須サファリパーク NIFREL 退会 京急油壺マリンパーク
維持会員	66団体	-3団体	

2. 正会員の異動に伴う入退会

平成29年度期間中：25名退会、25名入会

VI 事務所の所在地

東京都台東区台東4-23-10 ヴェラハイツ御徒町402

VII 総裁・役員等に関する事項

1. 総裁に関する事項

役職名	氏名	就任年月日	摘要
総裁	秋篠宮文仁親王殿下	昭和 63. 5. 25	

2. 役員に関する事項

役員一覧(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役職	氏名	就任年月日	役員就任年月日	現職	手当	執行担当・職務
理事	伊勢 伸哉	28. 5. 26	27. 5. 28	小樽水族館館長	無	副会長
〃	本川 博人	28. 5. 26	28. 5. 26	男鹿水族館 GAO 館長	〃	ブロック代表理事
〃	辻本 恒徳	28. 5. 26	28. 5. 26	盛岡市動物公園園長	〃	安全対策委員長
〃	佐藤 哲也	28. 5. 26	28. 5. 26	那須どうぶつ王国園長	〃	生物多様生委員長
〃	福田 豊	28. 5. 26	26. 5. 22	東京都多摩動物公園園長	〃	会長
〃	田畑 直樹	28. 5. 26	26. 5. 22	東京都葛西臨海水族園園長	〃	総務委員長
〃	岩渕 肇	28. 5. 26	28. 5. 26	浜松市動物園園長	〃	
〃	黒邊 雅実	28. 5. 26	28. 5. 26	名古屋市東山動植物園園長	〃	地域委員長・ブロック代表理事
〃	鈴木 隆史	28. 5. 26	28. 5. 26	越前松島水族館館長	〃	
〃	片山 博昭	29. 5. 23	29. 5. 23	京都市動物園園長	〃	
〃	西田 清徳	28. 5. 26	22. 6. 1	大阪・海遊館館長	〃	教育普及委員長、ブロック代表理事
〃	多々良成紀	28. 5. 26	27. 5. 28	高知県立のいち動物公園園長	〃	ブロック代表理事
〃	津村 英志	28. 5. 26	28. 5. 26	虹の森公園おさかな館館長	〃	平成 30 年 2 月 16 日逝去により辞任
〃	出口 智久	28. 5. 26	24. 5. 23	宮崎市フェニックス自然動物園園長	〃	副会長
〃	宮原 弘和	28. 5. 26	28. 5. 26	沖縄美ら海水族館館長	〃	ブロック代表理事

役職	氏名	就任 年月日	役員就任 年月日	現職	手 当	執行担当・職務
理事	成島 悦雄	28. 5. 26	28. 5. 26	公益社団法人日本動物園 水族館協会専務理事	有	専務理事
監事	植田 行宏	28. 5. 26	28. 5. 26	伊豆三津シーパラダイス 支配人	無	
〃	中井恭一郎	29. 5. 23	29. 5. 23	神戸市立王子動物園園長	〃	

VIII 議決機関

総 会：年1回開催、正会員で構成する。

理事会：理事16名で構成し、年数回開催する。

IX 執行機関

【会長、副会長、専務理事、執行理事】

執行委員会：委員長、副委員長、委員を置き、事業計画に基づく専門事項の計画、執行を担当する。また、各委員会の下に専門部会を置く。

- ・総務委員会（5名）：倫理、福祉、地域区分、定款・諸規定、重要な法人管理、その他の委員会に属さない事項に関する事
- ・教育普及委員会（4名）：園館職員の人材育成、動物園水族館雑誌の発行、一般に対する普及啓発活動に関する事
- ・安全対策委員会（4名）：園館施設・職員の安全及び衛生対策、災害対策、危機管理などに関する事
- ・生物多様性委員会（5名）：世界・国内戦略、資源確保、域外保全、種保存などに関する事
- ・地域委員会（5名）：地域園館の活性化、人材育成、災害・安全対策など地域間連携、加盟園館、維持会員の拡大などに関する事

地域別会議：各ブロックに代表理事をおき、ブロック内協議会、研修会、研究会等を開催する。

- ・関東東北・北海道ブロック ・中部ブロック ・近畿ブロック
- ・中国四国ブロック ・九州沖縄ブロック

広報戦略室：会長、副会長、専務理事、教育普及委員長

X 広報戦略会議：外部委員3名、顧問3名、会友1名、広報戦略室委員で構成する。

XI 事務局：専務理事、事務局長、職員3名

XII 諮問機関

顧問（3名）：専門知識を有し、理事会が推薦した者

会友（94名）：園館長歴5年以上、及び特別な功労のあった者で、理事会が承認した者

XIII 監査機関

監事（2名）：動物園から1名、水族館から1名就任

第2章 事業概要

当協会は、平成24年度の公益社団法人化を契機に、社会貢献等の対外的活動・発信を強化し、そのための体制強化を図る協会改革を実施してきた。平成26年度までに執行理事の下に整理された事業運営体制の構築、活動の方向性を示すビジョンと戦略の策定等を行い、その達成に向けた事業が進められた。

平成29年度は、倫理福祉規程に基づく会員園館長を対象とした、動物福祉ワークショップの開催、国内飼育イルカの繁殖等に取り組むための部会の設置ならびに会議の開催を実施した。また、タイ王国動物園機構（ZPO）と相互協力の協定を締結し、東南アジア地域における連携の強化について取り組むと同時に、国内においては、環境省との連携による稀少動物の保全についても継続的な活動を行い、社会に貢献する公益法人としての適切な活動を展開している。

第3章 実施事業

I 広報戦略室事業

広報戦略室は、外部有識者の提言を受け、協会の基本理念・戦略の作成、協会活動の発信の基本戦略を明確化した活動を平成26年度までに実施した。

1. 執行体制

広報戦略室委員：会長、副会長2名、専務理事、教育普及委員長

広報戦略会議：外部委員3名、顧問3名、会友1名、広報戦略室委員

2. 事業の実施

平成26年度末において一連の「いのちの博物館」活動のひとつであるシンポジウムを終了し、新たな戦略を模索するため平成27・28年度は一時活動を休止した。平成29年度はシンポジウム活動についての報告書編纂を教育普及委員会と共同で実施した。

II 総務委員会事業

総務委員会は協会の根幹となる定款、規定等の整備、動物倫理福祉のあり方検討、情報発信の企画調整などの事業を実施している。倫理福祉部においては規定の見直しを実施、平成30年度通常総会への提案に向けての作業を実施した。情報システム運営部においては、公開、非公開のホームページについて、セキュリティや更新について検討した。また、CPOS（コレクション計画運用システム）についてはデータをJAZAに移管し、新しいシステムにて運用を開始した。

栄養部会については部会運営の検討・活動計画、水族館部会については、部会開催前段階としてイルカ問題等について、イルカ飼育園館を対象とした会議を開催し、実情報告と今後の検討を行った。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長、副委員長、委員3名

情報システム運営部：部長、部員4名

倫理福祉部：部長、部員4名

栄養部：部長、部員4名、外部委員1名

水族館部：部長1名、5名

(2) 委員会、部会の開催

次の委員会・部会を開催し、関係事業を実施するため、議題に基づく意見交換、検討、問題解決、意思決定等を行った。

1) 第1回情報システム運営部会

開催日：平成29年9月20日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他6名

議題：公開HP、動物園水族館雑誌のデータベース化についてなど

2) 第1回栄養部会

開催日：平成29年10月13日 開催場所：上野動物園会議室

出席者：委員長他6名

議題：栄養部会の活動計画についてなど

3) 第1回倫理福祉部会

開催日：平成30年1月23日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他8名

議題：動物福祉自己評価研修、実施要綱の見直しについてなど

4) 第1回総務委員会

開催日：平成30年2月2日 開催場所：上野動物園会議室

出席者：委員長他9名

議題：① 各部会報告

② 会費区分について他

5) 第1回イルカ会議

開催日：平成30年2月15日 品川インターシティ貸会議室

出席者：会長他28園館39名

議題：イルカ問題に関するJAZAの取り組みについて他

6) 第2回栄養部会

開催日：平成30年3月9日 開催場所：上野動物園会議室

出席者：部長他5名

議題：栄養部会の活動計画についてなど

2. 事業の実施

(1) 情報システム運営部事業

1) 公開HPの写真の変更

会員園館への提供を呼びかけた

2) 公開HP有料バナー広告について

維持会員に働きかけ、一般への拡大を図る

3) HPの更新に関する事項

会員HPについての更新遅れが目立つため、その対策を図ることにした。

4) サイバー攻撃等のその後の状況について他

(2) 倫理福祉部事業

1) 倫理福祉規程実施要綱の詳細について見直しを検討

2) 動物福祉ワークショップの実施

- 3) JAZA 版動物福祉の自己評価チェックリストの作成
- (3) 栄養部事業
 - 1) SEAZA との連携
 - 2) アンケート調査の実施
- (4) 水族館部事業
 - イルカ会議の開催
- (5) その他
 - 協賛に関する事項
 - 後援名義等の申請に関する審査…協力 1 件、後援 39 件

Ⅲ 教育普及委員会事業

教育普及委員会では、「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づく事業・取り組みとして、国連生物多様性の 10 年日本委員会 (UNDB-J) の推進する事業への協力、外来種被害防止に資する事業への協働、環境省や UNDB-J の進める事業への会員園館の参加を促す周知活動等を実施した。

また、教育研修部・普及啓発部・学術研究部の各部で部会会議を開き、当該年度の事業に関する準備・実施等に関する討議・打ち合わせを経て、諸事業が遅滞なく実施されるよう注力した。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 3 名 (うち兼務あり)

教育研修部：部長 1 名 部員 4 名

普及啓発部：部長 1 名 部員 5 名

学術研究部：部長 1 名 部員 6 名

(2) 委員会、部会の開催

1) 第 1 回教育研修部会

開催日：平成 29 年 9 月 8 日 開催場所：大阪・海遊館

出席者：委員長他 8 名

議題：① 平 29 年度飼育技師資格認定試験について

② 飼育ハンドブックについて他

2) 第 1 回普及啓発部会

開催日：平成 29 年 9 月 22 日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他 7 名

議題：① 平成 29 年度事業実施状況について

② 「いのちの博物館シンポジウム」報告集について

③ 「いきもの学びねっと」の普及について他

3) 第 1 回学術研究部会

開催日：平成 29 年 10 月 5 日 開催場所：協会事務局

出席者：顧問・委員長他 12 名

議題：① 動水誌投稿論文進捗状況について

② 今後の掲載論文、発刊進行について

- ③ 動水誌のデータベース化について
- ④ 技術者研究会について
- ⑤ 宿題調査報告について
- ⑥ 繁殖賞見直しについて古賀賞との関連について他

4) 第2回普及啓発部会

開催日：平成30年1月24日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他9名

議題：① 「いのちの博物館シンポジウム」開催報告集編集の進捗について

② ワークショップの進捗状況報告等

③ その他

5) 第2回教育研修部会

開催日：平成30年2月2日～3日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他14名

議題：① 飼育技師資格認定試験答案の採点及び合否判定案作成

② 平成30年度教育研修部事業計画について

③ その他

6) 第2回学術研修部会

開催日：平成30年2月3日 開催場所：協会事務局

出席者：顧問・委員長他13名

議題：① 動水誌投稿論文の進捗状況

② 今後の掲載論文、発刊進行について

③ 古賀賞、技術研究表彰について

④ 投稿規定の見直しについて

⑤ 技術者研究会報告

⑥ 論文アーカイブの日動水ウェブサイトへのアップについて

⑦ CiNii や J-STAGE などの論文ポータルサイトを用いたサーキュレーションについて

⑧ 学術研究部会の委員会昇格について

⑨ その他

2. 教育研修部事業

(1) 会員園館職員の研修に関する事業

各ブロックで開催されている飼育係研修会の調査・整理と助言を行った。

(2) 飼育ハンドブック事業に関する事業

新飼育ハンドブック（改訂版）について、検討を行った。

(3) 飼育技師資格認定試験に関する事業

会員園館の飼育技術者を対象に、人材育成を図るため「第46回飼育技師資格認定試験」を実施した。

開催日：平成30年1月15日 開催場所：25園館の試験場

受験者：365名（動物園229名、水族館136名）

合格者：335名（動物園209名、水族館126名） 合格率：91.8%

3. 普及啓発部事業

(1) 会員園館職員の研修に関する事項

会員園館の職員を対象に、参加者がテーマを基に教育プログラムを企画・立案・発表を行い、各園館における新たな教育プログラムの開発に繋げる研修を実施した。

1) 動物園参加型研修会(ワークショップ)

開催日：平成 30 年 2 月 17 日～18 日 開催場所：旭川市旭山動物園

参加者：28 園館 33 名

テーマ：小学校教員と作る「1 学年に応じた動物観察ワークシートの作成と実践」

2) 水族館参加型研修会(ワークショップ)

開催日：平成 30 年 2 月 21 日～22 日 開催場所：宮島水族館

参加者：25 園館 31 名

テーマ：学校の水族館利用促進を目的とした教育プログラムの開発について

(2) 社会への普及啓発に関する事項

動物愛護精神の普及啓発を図るため次の事業を実施した。

1) 飼育の日事業

期間：平成 29 年 4 月 19 日

内容：各園館において飼育に関する各種催事を実施し、動物園水族館事業の社会への普及啓発に努めた。

2) 動物愛護に関する標語募集(42 回)

募集期間：平成 29 年 7 月 1 日～7 月 31 日

内容：各園館にて一般の人を対象に動物愛護精神普及啓発を図る標語コンクールを実施した。

応募総数：63 園館 7,894 点 うち中央審査対象標語 260 点

3) 環境省外来生物対策室との協同事業

新宿御苑みどりフェスタ

開催日：平成 29 年 4 月 29 日 開催場所：新宿御苑

内容：外来種被害防止関連の広報活動

4) 動物愛護週間中央行事

① 屋内行事

開催日：平成 29 年 9 月 24 日 開催場所：東京国立博物館

内容：動物愛護標語の入賞者への表彰式を行った。

② 屋外行事

開催日：平成 29 年 9 月 23 日 開催場所：上野恩賜公園噴水前広場

内容：環境省主催の「動物愛護フェスティバル」行事の実行委員会として様々なイベントを実施し、広く一般に動物愛護の普及啓発に努めた。

5) いきもの学びねっとの普及に関する事業

既存の広報用チラシを随時会員園館へ配布するとともに、動物愛護週間中央行事屋外イベント他大学でのシンポジウムなどにおいてポスター発表を行った。

6) 協会事業の広報普及に関する事業

協会事業を開発するポスターパネルを作成し、動物愛護週間中央行事、日本獣医師会主催行事等

に掲示、解説を行った。

4. 学術研究部事業

(1) 技術者研究会等に関する事項

1) 第 65 回動物園技術者研究会

開催日：平成 29 年 12 月 12 日～14 日 開催場所：京都市動物園

出席者：秋篠宮総裁殿下、会長、副会長、68 園館 101 名（学術研究部員、その他含む）

研究発表：31 題 ポスター発表：10 題 宿題調査報告：1 題 その他懇談事項

2) 第 62 回水族館技術者研究会

開催日：平成 29 年 10 月 30 日～31 日 開催場所：男鹿水族館・GAO

出席者：秋篠宮総裁殿下、会長、副会長、50 園館 88 名（学術研究部員、その他含む）

研究発表：16 題 話題提供：3 題 宿題調査報告：1 題 その他報告・懇談事項

3) 第 43 回海獣技術者研究会

開催日：平成 29 年 12 月 12 日～13 日 開催場所：サンシャイン水族館

出席者：副会長、46 園館 83 名（会友 1 名、その他含む）

研究発表：20 題 話題提供：3 題 宿題調査報告：1 題 その他報告・懇談事項

(2) 動物園水族館雑誌に関する事項

動物園水族館での飼育業務を通じて得た知見等を主体に各研究会での発表抄録等を掲載した「動物園水族館雑誌」58 巻 1～4 号、59 巻 1～4 号を発行した。

発行部数は各号 650 部、本刊行物は正会員・維持会員・会友及び国内外の関係機関に無償頒布するとともに一般にも有償頒布している。

(3) 研究成果に対する表彰に関する事項

1) 技術者研究表彰

① 原著「大型ネコ科動物における採血のためのハズバンドグリーディング」

著者：伴 和幸、小野亮輔、川瀬啓祐、齊藤 礼、椎原春一（大牟田市動物園）

（掲載号：第 59 巻 1 号）

② 原著「ニホンザル飼育集団の飼料設計：体重変化に基づく可消化エネルギー要求量の推定」他ニホンザル飼育に関する 6 編の掲載論文

著者：青木孝平、藤本卓也、田島日出男、村山美穂、川口幸男（東京都恩賜上野動物園ほか）

（掲載号：第 58 巻 3 号ほか）

③ 原著「飼育下におけるコトクラゲの繁殖と育成」

著者：山内信弥、藤井健一、石井輪太郎（ふくしま海洋科学館）

（掲載号：第 58 巻 1・2 号）

2) 古賀賞表彰

※ 平成 29 年度の表彰はなし

IV 安全対策委員会事業

安全対策委員会は、「安全対策部」「災害対策部」「感染症対策部」で構成し、動物園水族館施設の安全対策、危機管理、動物感染症など次の事業を実施した。

安全対策部：事故報告 4 件（動物脱走 2 件、人身事故 2 件）

災害対策部：赤十字飛行隊との合同訓練

感染症対策部：鳥インフルエンザ発生などの情報収集、注意喚起等を実施

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 3 名

安全対策部：部長 1 名 部員 5 名

災害対策部：部長 1 名 部員 5 名

感染症対策部：部長 1 名 部員 5 名

2. 安全対策部事業

(1) 飼育動物に関する事故、動物の脱出等の報告を行い、安全対策に対する注意を喚起した。

(2) 緊急安全対策会議

開催日：平成 29 年 9 月 22 日 開催場所：東京都恩賜上野動物園

出席者：委員長、副委員長、安全対策部長・部員、サファリ形式動物園管理者 8 名

議題：これまでの事故の検証、再発防止策の検討他

(3) 第 28 回大型動物麻酔研究会

開催日：平成 29 年 10 月 2 日～3 日 開催場所：千葉市動物公園

出席者：24 園館 35 名

研究発表：5 題、その他懇談事項

(4) 第 27 回ゾウ会議

開催日：平成 29 年 11 月 29 日～30 日 開催場所：鹿児島市平川動物公園

出席者：副会長、専務理事、安全対策部長、外部委員、43 園館 85 名

研究発表：15 題 ポスター発表：6 題、その他懇談事項

(5) 第 27 回日本動物園水族館設備会議

開催日：平成 29 年 11 月 30 日～12 月 1 日 開催場所：島根県立島しまね海洋館

出席者：45 園館 87 名、会友 1 名、維持会員 24 業者 58 名、その他 9 業者 17 名

研究発表：9 題 宿題調査報告：1 題、全体討議 3 件、その他懇談事項

3. 災害対策部事業

(1) 6 月 25 日長野県、7 月 1 日北海道、7 月 2 日熊本県・大分県での地震発生を受け、会員園館の被害状況の確認調査を実施。

(2) 水鳥救護研修センター運営協議会へ災害対策部長が出席し、情報共有をした。

(3) 災害時における救護活動及び連絡体制の確立のために日赤飛行隊と締結した「災害救護支援活動に関する協定」にもとづいて、12 月 7 日、赤十字飛行隊との合同訓練を実施。

(4) 災害時の飼育展示動物の救護治療等の検討：VMAT(災害派遣獣医療チーム)との連携を検討

4. 感染症対策部事業

(1) 「高病原性鳥インフルエンザ対応マニュアル」を策定、会員 HP において情報共有を図る。

(2) 環境省の「動物園等における飼養鳥に関する高病原性鳥インフルエンザの対応指針」改訂のための関連会議に感染症対策部長が出席、意見交換。

(3) 第 1 回感染症対策部会

開催日：平成 29 年 7 月 18 日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長、部長、部員 5 名、オブザーバー 1 名

議題：① 感染症に関する情報発信の方法について

② 鳥インフルエンザの JAZA 版マニュアルの作成について

V 生物多様性委員会事業

生物多様性委員会は、「国際保全事業部」「保全戦略部」「種保存事業部」で構成し、生物の多様性保全、繁殖表彰、動物名検討など次の事業を実施した。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長 1 名、副委員長 1 名、委員 3 名、外部委員 1 名

国際保全事業部：部長 1 名、部員 4 名

保全戦略部：部長 1 名、副部長 1 名、部員 6 名

種保存事業部：部長 1 名、部員 12 名

作業部会：類別事業調整者 12 類 12 名

種別計画管理者・個体群管理者 163 種 120 名

専門技術員 51 種 174 名

(2) 委員会、部会の開催

次の委員会・部会を開催し、関係事業を実施するため、議題に基づく意見交換、検討、問題解決、意思決定等を行った。

1) 第 1 回生物多様性委員会

開催日：平成 29 年 4 月 19 日～20 日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他 5 名

議題：① 種保存事業の進捗状況の評価について

② 平成 29 年度事業の実施計画について

③ その他懸案事項について

2) 第 2 回生物多様生委員会（三部合同会議）※会期中、国際保全、保全戦略、種保存の各部会を開催）

開催日：平成 29 年 6 月 19 日～20 日 開催場所：井の頭自然文化園

出席者：委員長他 29 名

議題：① 平成 29 年度事業の執行計画について

② 種保存事業の進捗状況の評価結果について

③ その他の懸案事項について

④ 各部会において部内業務分担、協議事項の検討

3) 第 1 回保全戦略部会（トゲネズミ類）

開催日：平成 29 年 8 月 17 日 開催場所：井の頭自然文化園

出席者：部長他 6 名

議題：トゲネズミ類の生息域外保全推進事業の実施体制及び平成 29 年度実施方針について

4) 第 2 回保全戦略部会（配偶子バンク）

開催日：平成 29 年 8 月 25 日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他 13 名

- 議題：① 神戸大学から移動した配偶子バンクの状況説明
② 過去の配偶子バンクの今後の扱い、方向性についての説明・検討
③ 今後の配偶子バンク事業の体制・協定等の説明・検討
④ 動物園水族館研究アライアンス（ZARAS）の説明・検討他

5) 第3回生物多様性委員会

開催日：平 29 年 11 月 15 日 開催場所：江陽グランドホテル（仙台）

出席者：委員長他 5 名

- 議題：① 第 20 回種保存会議の運営について
② 飼育適正施設ガイドラインの策定について
③ 平成 30 年度事業計画について
④ その他の懸案事項について

6) 第4回生物多様生委員会

開催日：平成 30 年 1 月 12 日 開催場所：協会事務局

出席者：委員長他 7 名

- 議題：① 繁殖賞について
② 動物園水族館繁殖研究アライアンス（ZARAS）について
③ その他

2. 国際保全事業部事業

(1) 国際的な連携、協働を要する保全への取り組みに関する事項

1) 展示生物の継続的確保に関する協会の世界戦略に関すること

① 国際会議への参加

i) WAZA 総会

開催日：平成 29 年 10 月 14 日～21 日 開催場所：ドイツ・ベルリン市

出席者：会長、専務理事

ii) CPSG 総会 開催場所：ドイツ・ベルリン市

開催日：平成 29 年 10 月 12 日～15 日

出席者：国際保全事業部長

iii) スマトラトラ GSMP 会議 開催場所：インドネシア・ボゴール市

開催日：平成 30 年 2 月 4 日～11 日

出席者：種保存事業部スマトラトラ種別計画管理者

② アジアでのネットワーク構築やそのサポート

i) SEAZA 年次大会 開催場所：フィリピン・マニラ市

開催日：平成 29 年 11 月 12 日～17 日

出席者：平成 29 年度は不参加

ii) 第 20 回種保存会議にアジア地域の協定締結協会を招聘

招聘地域協会：タイ王国動物園機構、インドネシア動物園協会

iii) タイ王国動物園機構（ZPO）と相互協力のための覚書（MOU）締結 平成 29 年 11 月 17 日

③ 飼育下個体群管理のための飼育動物個体情報の管理共有推進

i) WAZA 総会会期中に、Species360 との個別協議を実施

ii) ZIMS 日本語化に向け作業チームを編成して対応、ZIMS 講師養成講習会の実施

2) 会員園館の展示生物の収集に関する情報提供、助言及び支援に関すること

未掲載種の追加ならびに今後の管理・運用方法について検討

3) CPOS (コレクション計画オンラインシステム) の移管

平成 27 年 9 月末を持って ZAA から JAZA に移管、10 月から JAZA 事務局で管理運営を行う。

4) 関係官公庁との連絡調整に関すること

3. 保全戦略部事業

(1) 日本の動物園水族館の生物多様性保全戦略に関する事項

1) WAZA が推進している「保全のための一つに統合された取組み (One Plan Approach) に関する情報収集と日本の動物園水族館への適用の検討

2) 生息域内、域外保全と普及啓発活動の統合をめざし、教育普及委員会、環境省、国際自然保護連合日本委員会と共同し、国連生物多様性の 10 年日本委員会 (UNDB-J) の各種活動を支援した。

(2) 協会としての日本の統合された保全への取組みに関する事項

1) 環境省と締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づく業務の受託

① 環境省自然環境局の「平成 29 年度希少野生動物の生息域外保全検討実施委託業務」を受託

i) ライチョウの生息域外保全に係る検討

・ 第 1 回ライチョウ飼育管理検討会議 平成 29 年 10 月：東京都恩賜上野動物園会議室

・ 第 2 回ライチョウ飼育管理検討業務 平成 30 年 1 月：富山市ファミリーパーク

ii) トゲネズミ類の生息域外保全に係る検討業務

・ アマミトゲネズミ飼育管理検討会議 平成 29 年 11 月：宮崎市フェニックス自然動物園

iii) ミヤコカナヘビの生息域外保全に係る検討

・ ミヤコカナヘビ飼育管理検討会議 平成 30 年 2 月 21 日：東京都恩賜上野動物園

② ツシマヤマネコ保護増殖事業の推進

環境省九州地方環境事務所と「平成 29 年度ツシマヤマネコ飼育下繁殖・飼育管理等に係る検討業務」について契約を締結

・ 第 1 回ツシマヤマネコ飼育管理検討会議 平成 29 年 7 月：沖縄こどもの国

・ 第 2 回ツシマヤマネコ飼育管理検討会議 平成 29 年 9 月：富山県民会館

2) 小笠原産陸生貝類の生息域外保全検討業務

公益財団法人東京動物園協会に業務を引き継ぎ、協会所管の動物園、水族園にて飼育開始

3) ツシマウラボシシジミ生息域外保全検討業務

一会員園館のみで飼育のため、状況把握のみ実施

(3) 加盟園館の展示生物の収集に関する情報提供、助言ならびに支援に関する事項 (国際保全事業部に属する業務を除く)

1) ワシントン条約関連緊急保護動物収容受託

管理期間：平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

管理動物数：108 種 744 点

寄託管理費：12,370,580 円

(4) 種保存事業の実施に係る助言ならびに支援に関する事項 (国際保全事業部に属する業務を除く)

1) 個体群管理講習会の実施

① ZIMS 研修会

開催日：平成 29 年 6 月 19 日～20 日 開催場所：井の頭自然文化園

講師：Species360 Dr. J. Andrew Teare (ZIMS 獣医医療部門レーナー、獣医師)

Mr. Joshua Courteau (ZIMS 飼育個体情報部門マネージャー)

出席者：11 名

研修内容：・全体研修：研修会の目的、ZIMS の概要について、主な機能と操作について

・コース別研修：飼育個体情報監理コース、獣医医療情報管理コース

② 第 1 回個体群管理講習会

開催日：平成 29 年 11 月 18 日～19 日 開催場所：仙台市八木山動物公園

出席者：29 名

講習内容：SPARKS の基礎、不確実データの取り扱い、データ検証についての講習・実技等

③ 第 2 回個体群管理講習会

開催日：平成 29 年 12 月 14 日～15 日 開催場所：京都市動物園

出席者：19 名

講習内容：基礎講習

(5) 配偶子バンクに関する事項

5 カ所の動物園に分散保管した配偶子バンクの維持管理

(6) 関係官公庁の窓口に関する事項

1) 平成 29 年度生物多様性保全の推進に関する連絡調整会議

開催日：平成 30 年 1 月 12 日 開催場所：経済産業省別館 1 階

出席者：環境省 9 名、日動水協 11 名

議題：① 生物多様性保全の推進に関する基本協定書に基づく取り組み状況

② 環境省からの話題提供

③ 日動水協からの話題提供

④ その他

3. 種保存事業部事業

(1) 種保存事業に関する事項

1) 第 20 回種保存会議実行委員会

開催日：平成 29 年 7 月 25 日 開催場所：仙台市八木山動物公園

出席者：開催園園長、委員長、種保存事業部長、開催園担当者、協会事務局

議題：① 会議日程について

② 開催までのスケジュール確認について

③ 会場施設確認他

2) 第 20 回種保存会議

開催日：平成 29 年 11 月 16 日～17 日 開催場所：仙台市・江陽グランドホテル

出席者：総裁、会長、副会長、94 園館 246 名（生物多様生委員長、その他含む）

議題：① 生物多様生委員会報告

② 分科会、類別分科会報告

発表等：ポスター発表 22 件

シンポジウム：「動物園水族館でつなぐ命 -自然と共生する世界を目指して-」
基調講演、事例報告、パネルディスカッション
参加者 192名

3) 各作業部会等

① 有蹄類作業部会

開催日：平成 29 年 5 月 26 日 開催場所：東武動物公園

出席者：類別事業調整者他 17 名

議題：i) JSMP 種の 28 年度計画の進捗と 29 年度計画の報告

ii) JSB 種・維持種・調査種の概況報告

iii) 維持種と調査種の担当者について

iv) JCP 種の新規選定について

v) JAZA 飼育ガイドラインについて

vi) その他検討を要すると思われる種の検討

vii) 第 20 回種保存会議について

② 鯨類合同計画推進会議

開催日：平成 29 年 6 月 22 日 開催場所：東京文化会館

出席者：類別事業調整者他 40 名

議題：i) 各種概況報告ならびに管理計画の進捗状況について

ii) イルカ問題への今後の JAZA の取組について

iii) 今年度事業計画について

iv) イルカ保全事業への要望、その他

③ サイ 3 種合同計画推進会議

開催日：平成 29 年 6 月 22 日 開催場所：横浜市立金沢動物園

出席者：種別計画管理者他 14 名

議題：i) 前回会議の課題と進捗状況について

ii) 種別討議、各種の課題と今後の計画について

iii) 全体討議、今後の計画について

iv) 研究発表、講演

④ チンパンジー計画推進会議

開催日：平成 29 年 6 月 26 日 開催場所：東京都多摩動物公園

出席者：類別事業調整者他 9 名

議題：i) 平成 29 年度繁殖計画進捗状況について

ii) 平成 30 年度繁殖計画について

iii) その他協議事項について

⑤ アジアゾウ・アフリカゾウ合同計画推進会議

開催日：平成 29 年 6 月 29 日 開催場所：東京都東部公園緑地事務所

出席者：種別計画管理者他 14 名

議題：i) 前年度計画の進捗状況について

ii) 平成 29 年度計画推進会議のメンバーについて

iii) 平成 29 年度の管理計画の策定について

⑥ コアラ計画推進会議

開催日：29 年 7 月 3 日 開催場所：神戸市立王子動物園

出席者：種別計画管理者他 20 名

議題：i) 個体群管理目標と繁殖計画について

ii) 国内血統登録状況について

iii) 飼育状況について

iv) ホルモン解析等について

⑦ マレーバク計画推進会議

開催日：平成 29 年 7 月 11 日 開催場所：広島市安佐動物公園

出席者：魚類事業調整者他 9 名

議題：i) 飼育したマレーバクの現状と課題について

ii) 飼育ガイドラインの作成について

iii) 今後の繁殖計画の進め方について

iv) 人工哺育について

v) 次回の開催について

⑧ ニシゴリラ計画推進会議

開催日：平成 29 年 7 月 12 日 開催場所：京都市動物園

出席者：類別事業調整者他 8 名

議題：i) 飼育状況報告

ii) 今後の繁殖計画、課題

iii) 海外との連携について

iv) 飼育マニュアルの作成について

v) オスの任孕能やメスの任孕能について

vi) その他

⑨ スナメリ人工哺育研修会

開催日：平成 29 年 9 月 5 日 開催場所：鳥羽水族館

出席者：種別計画管理者他 29 名

議題：i) 授乳・強制給餌の紹介

ii) ミルク・すり身の作り方紹介

iii) 意見交換等

⑩ ホッキョクグマ計画推進会議

開催日：平成 29 年 9 月 6 日～7 日 開催場所：静岡市立日本平動物園

出席者：類別事業調整者他 10 名

議題：i) 国内飼育下ホッキョクグマの現状と課題の確認

ii) 国内飼育下ホッキョクグマの移動計画の策定

iii) 海外との連携について

iv) 拡大会議について

⑪ オランウータン計画推進会議

開催日：平成 29 年 9 月 11 日 開催場所：名古屋市東山動物園

出席者：委員長他 8 名

- 議題： i) 繁殖計画、動物移動
ii) 海外動向と輸入検疫
iii) ガイドライン
iv) 年時調査と調査内容他

⑫ ペンギン類作業部会

開催日：平成 29 年 10 月 17 日 開催場所：しながわ水族館

出席者：類別事業調整者他 14 名

- 議題： i) 類別事業調整者からの報告
ii) 種別計画管理者報告
iii) 個体群管理者報告
iv) 種保存会議について
v) フンボルトペンギン属の孵卵温度と性別の関係調査について
vi) 次回の開催について

⑬ チーター計画推進会議

開催日：平成 29 年 10 月 19 日～20 日 開催場所：アドベンチャーワールド

出席者：類別事業調整者他 24 名

- 議題： i) 計画推進会議構成員変更について
ii) チーター移動案について
iii) 専門技術員増員について
iv) 2016 年度国内血統登録調査結果報告
v) 特別講演
vi) 各園館近況報告、課題共有
vii) チーター飼育ハンドブック更新について
viii) 次回会議開催時期・開催園館について
ix) アドバイザー変更について
x) チーターチームメーリングリストの改正について

⑭ 魚類作業部会

開催日：平成 29 年 10 月 19 日～20 日 開催場所：海の中道海洋生態科学館

出席者：類別事業調整者他 18 名

- 議題： i) 種別中間報告ならびに行動計画について
ii) 内規の改定について
iii) 30 周年記念事業について
iv) 第 20 回種保存会議ポスター発表について
v) クマノミプロジェクトについて
vi) ガイドラインについて
vii) 次回の開催について

- ⑮ レッサーパンダ計画推進会議
開催日：平成 29 年 11 月 7 日～8 日 開催場所：アゼイリア飯綱
出席者：種別計画管理者他 41 名
議題：i) 現在の状況について
ii) 新規園館と海外について
iii) 移動案について
iv) 繁殖制限について
v) ガイドラインについて
vi) 次回以降の開催予定について
- ⑯ ニホンコウノトリ計画推進会議兼コウノトリ個体群管理に関する機関・施設間パネル(IPPM-OWS)域外保全作業部会
開催日：平成 29 年 12 月 21 日 開催場所：京都市動物園
出席者：種別計画管理者他 39 名
議題：i) 平成 29 年生息域外でのコウノトリの状況
ii) 個体群の人口統計学/遺伝学的概要 (PM_x での分析)
iii) 平成 30 年移動/繁殖計画について
iv) その他
- ⑰ ニホンイヌワシ計画推進会議
開催日：平成 30 年 1 月 10 日 開催場所：盛岡市動物公園
出席者：種別計画管理者他 13 名
議題：i) 平成 29 年実施計画の結果について
ii) 平成 30 年実施計画について、その他
- ⑱ ルリカケス計画推進会議ならびに生息域内外調整会議
開催日：平成 30 年 1 月 13 日 開催場所：アマミ野鳥の会事務所
議題：i) 飼育状況報告
ii) 生息域内保護活動報告 (奄美野鳥の会)
iii) 次年度以降の活動について
iv) ルリカケス飼育ガイドライン策定
- ⑲ アムールトラ・スマトラトラ合同計画推進会議
開催日：平成 30 年 1 月 25 日～26 日 開催場所：東京都恩賜上野動物園
出席者：類別事業調整者他 16 名
議題：i) アムールトラ計画推進会議
・平成 29 年次調査結果報告
・国内個体群分析結果報告
・GSMP 関係報告
・トラの亜種について
・繁殖、移動計画検討
・次年度開催園検討
ii) スマトラトラ計画推進会議

- ・平成 29 年次国内スマトラトラ状況報告
- ・繁殖に向けた個体の移動案検討
- ・新規スマトラトラ希望園について
- ・スマトラトラ専門技術員について
- ・次年度開催園検討
- ・第 4 回 GSMP 報告

iii) アムールトラ・スマトラトラ合同計画推進会議

- ・飼育ハンドブック作成について
- ・まとめ、その他

⑳ ニホンイヌワシ計画推進会議

開催日：平成 29 年 2 月 16 日 開催場所：札幌市円山動物園

出席者：計画管理者他 10 名

議題：i) 平成 28 年実施計画の結果について

ii) 平成 29 年計画について、その他

㉑ アムールトラ・スマトラトラ合同計画推進会議

開催日：平成 29 年 2 月 22 日～23 日 開催場所：わんぱーくこうちアニマルランド

出席者：事業調整者他 14 名

議題：I アムールトラ計画推進会議

i) 2016 年次調査結果報告

ii) 個体群分析結果報告

iii) 国際的な状況について

iv) 繁殖・移動計画検討

II スマトラトラ計画推進会議

i) 2016 年次調査結果報告

ii) 各園からの報告

iii) GSMP 会議報告

III アムールトラ・スマトラトラ合同計画推進会議

i) 飼育ハンドブック作成について

ii) 次回以降の開催について

iii) まとめ

㉒ グレビーシマウマ計画推進会議

開催日：平成 30 年 1 月 25 日～26 日 開催場所：横浜市立野毛山動物園

出席者：事業調整者他 10 名

議題：i) 平成 29 年度繁殖計画進捗状況確認

ii) 平成 30 年度繁殖計画案検討

iii) 種保存会議報告（ガイドライン等）

iv) その他協議事項

㉓ キリン計画推進会議

開催日：平成 30 年 2 月 8 日 開催場所：東京都多摩動物公園

出席者：類別事業調整者他 8 名

- 議題： i) 平成 29 年度繁殖計画進捗状況の確認
ii) 平成 30 年度繁殖計画案の検討
iii) ガイドラインについて
iv) 突然死の調査結果について
v) その他

②④ コツメカワウソ計画推進会議

開催日：平成 30 年 2 月 19 日～20 日 開催場所：大阪・海遊館

出席者：種別計画管理者他 23 名

- 議題： i) 平成 28 年～平成 29 年の国内飼育状況確認
ii) 研究について
iii) 餌アンケート確認
iv) 平成 28 年アンケートについて
v) ハンドブック進行状況
vi) ガイドラインについて
vii) 平成 29 年度アンケートの検証
viii) 今後の課題について、その他
ix) 平成 29 年度管理計画案について
x) 国内飼育状況報告
xi) 尿路結石について
xii) 事例報告 4 題、その他

②⑤ ロリス・マーモセット類、キツネザル類合同計画推進会議

開催日：平成 30 年 3 月 1 日～2 日 開催場所：公益財団法人日本モンキーセンター

出席者： 類別事業調整者他 12 名

- 議題： i) 各種平成 29 年度報告ならびに平成 30 年度計画・課題について
ii) 情報提供
iii) ガイドライン作成について

(2) 繁殖表彰に関わる事項

平成 29 年度の繁殖賞については休止

(3) 動物名の検討に関わる事項

- 1) CPOS 稼働後の未掲載種取り扱いについての検討

(4) その他

- 1) 日本ツル・コウノトリネットワーク
2) 愛鳥懇話会

VI 地域委員会・ブロック事業

地域委員会は、協会の全国地域 5 ブロックを統括、指導・調整する組織で、地域園館の活性化、人材育成、地域での協会事業など次の事業を実施した。

1. 執行体制

(1) 構成

委員会：委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 3 名

(2) 委員会の開催

第 1 回地域委員会

開催日：平成 29 年 11 月 22 日 開催場所：大阪・海遊館、ニフレル

出席者：委員長他 5 名

議題：① 各ブロック報告

② 委員会活動、その他

2. 事業の実施

(1) 地域園館の活性化に関する事項

動物愛護精神の普及啓発及び地域との交流を図るため、次の事業を実施した。

1) 幼児・児童動物画コンクール(関東東北・北海道ブロック内の北海道ブロック)

2) 写生大会(中部ブロック)

(2) 地域での協会事業に関する事項

会員園館職員の人材育成を図るため次の事業を実施した。

1) 事務主任者会議

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	羽村	30. 1. 10～11	35 園館 45 名	
中部	東山	29. 11. 09～10	14 園館 16 名	
近畿	みさき	29. 10. 12	15 園館 21 名	
中国四国	徳山	29. 6. 27	12 園館 17 名	
九州沖縄	福岡	30. 1. 25～26	14 園館 16 名	

2) 動物園水族館飼育係研修会

① 動物園飼育係研修会

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	横金沢	29. 6. 29	22 園館 47 名	
〃	多摩	30. 1. 26	13 園館 35 名	
〃	市川	30. 2. 8	23 園館 44 名	
中部	豊橋	29. 11. 21～22	22 園館 30 名	※水族館と合同
近畿	姫路動	29. 6. 12	11 園館 23 名	
中国四国	とべ	30. 2. 27～28	11 園館 25 名	
九州沖縄	九州	30. 2. 7～8	11 園館 22 名	※水族館と合同

② 水族館飼育係研修会

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	大洗	29. 11. 8～9	20 園館 30 名	
中部	岐阜水	29. 6. 29～30	24 園館 31 名	※動物園と合同
近畿	須磨	29. 6. 6～7	9 園館 25 名	
中国四国	お魚館	29. 2. 19～20		※中止

九州沖縄 沖縄こ 30. 1. 24～25 12 園館 19 名 ※水族館と合同

3. ブロック園館長会議

次のブロック園館長会議を開催し、ブロック内事業を実施するため、議題に基づく意見交換、問題解決、意思決定等を行った。

ブロック別	開催場所	開催年月日	参加者	備考
関東東北・北海道	ニクス	29. 4. 10～11	43 園館 47 名	
〃	大森山	29. 10. 25～26	47 園館 60 名	
中 部	楽寿園	29. 4. 26	26 園館 31 名	
〃	茶臼山	29. 10. 25	23 園館 25 名	
近 畿	海遊館	29. 4. 13～14	21 園館 27 名	
〃	南 紀	29. 11. 13～14	20 園館 28 名	
中国四国	安 佐	29. 4. 13	16 園館 19 名	
〃	徳 島	29. 11. 7	16 園館 20 名	
九州沖縄	到 津	29. 4. 19～20	18 園館 22 名	
〃	沖縄水	29. 10. 25～26	18 園館 21 名	

Ⅶ 事務局事業

協会事務局は刊行物、CITES 保護、野生動物保護募金など次の事業を実施した。

1. 執行体制

専務理事 1 名、事務局長 1 名、職員 3 名

2. 事業の実施

(1) 統計、刊行物に関する事項

1) 年報の発行

動物園水族館に関する管理者・職員数・飼育動物数・入園館者数・経費・繁殖動物などを調査し、会員園館及び関係機関に配付するとともに、一般にも有償頒布する。

※平成 29 年 5 月発行 500 部

2) 事業概要の発行

協会の概要・会員・役員・各種会議・事業など集約し、会員園館に頒布するとともに関係機関にも配付する。

※平成 29 年 9 月発行 550 部

3) 月報の作成

会員園館の事業報告、各種会議報告、事務局報告などを毎月作成し、会員用 HP に掲載するとともに、維持会員にもメール配信し、情報提供を行った。

4) 飼育ハンドブックの増刷等

動物園編第 4 集 3,000 部

水族館編第 1、2、4 集 各 3,000 部

5) 動物園水族館雑誌の発行

動物園水族館雑誌 58 巻第 1 号～第 4 号、59 巻第 1 号～4 号 各 650 部

(2) 会費に関する事項

次の関係団体に加入し、総会へ出席するなど情報交換を行うとともに、種保存など連携を図った。

- 1) 日本博物館協会 (30 千円)
- 2) 国際自然保護連合(IUCN) (231 千円)
- 3) 国際自然連合日本委員会(IUCN-J) (30 千円)
- 4) 保全繁殖専門家集団(CBSG) (394 千円)
- 5) 世界動物園水族館協会(WAZA) (243 千円)
- 6) 日本ツル・コウノトリネットワーク (5 千円)

(3) 野生動物保護募金に関する事項

野生動物の保護活動に積極的に取り組むため会員園館に募金箱を設置し、来園者などから広く寄付金を募り、野生動物の保護活動事業に助成した。

募金設置園館 134 園館 1 施設 156 基 平成 29 年度募金額 6,960 千円

- 1) 野生動物保護募金事業助成 9 件 3,808 千円

(4) 総会・理事会等に関する事項

1) 総会

開催日：平成 29 年 5 月 23 日～24 日 開催場所：高知市・城西館

2) 理事会・執行理事会・三役会議

① 理事会 6 回開催

② 三役会議 3 回開催

(5) 監査に関する事項

平成 29 年度の事業報告及び決算報告について、平成 30 年 4 月 26 日に監事による監査の実施

(6) 新入会員調査に関する事項

平成 30 年 1 月 18 日 新入会員(ニフレル)の調査を実施した。

(7) 法人管理運営に関する事項

会議経費、人件費等執行した。

VIII 公益目的・法人の共通事業

職員給与、役員報酬、修繕・委託費、事務所費等を執行した。

IX 決算概要(正味財産増減計算書内枠書抜粋)

(単位:円)

科目	公益目的会計	法人会計	合計
I 一般正味財産			
1. 経常増減の部			
1) 経常収益			
基本財産運用益	210	90	300
特定資産運用益	214,267	715	214,982
受取入会金	216,000	504,000	720,000
受取会費	12,255,000	28,595,000	40,850,000
事業収益	29,056,844	0	29,056,844
受取補助金等	24,763,197	0	24,763,197
受取負担金	6,217,000	2,820,000	9,037,000
受取寄付金	21,688,208	31,079	21,719,287
雑収益	683,461	193,854	877,495
経常収益計	95,094,367	32,144,738	127,239,105
2) 経常費用			
事業費	104,054,975	0	104,054,975
管理費	0	19,088,667	19,088,667
経常費用計	104,054,975	19,088,667	123,143,642
当期経常増減額	△ 8,960,608	13,056,071	4,095,463
2. 経常外増減の部			
1) 経常外収益	73,177	15,136	88,318
2) 経常外費用	10,111	0	10,111
当期経常外増減額	63,066	15,136	78,202
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 3,897,542	8,071,207	4,173,665
一般正味財産期首残高	23,830,414	25,254,721	49,085,135
一般正味財産期末残高	19,932,872	33,325,928	53,258,800
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金	0	0	0
受取寄付金	7,945,970	0	7,945,970
特定資産運用益	226,596	0	226,596
一般正味財産への振替額	△ 21,881,096	0	△ 21,881,096
当期指定財産増減額	△ 13,652,874	0	△ 13,652,874
指定正味財産期首残高	159,329,372	0	159,329,372
指定正味財産期末残高	145,676,498	0	145,676,498
III 正味財産期末残高	165,609,370	33,325,928	198,935,298

第4章 事業の課題

平成 29 年度の事業計画に基づき執行委員会及び協会事務局として事業を実施してきたが、今年度以降の主な検討課題は次のとおりである。

I 総務委員会

1. 倫理福祉に関する事項
 - 1) 倫理福祉規程実施要綱の見直しならびに改正
 - 2) 「正会員入会審査要綱」の見直しの検討
 - 3) 動物福祉に係る情報収集ならびに事業の展開
2. 会費改正に関する事項
3. 定款・諸規程の改正に関する事項
4. その他法人に関する事項
5. 栄養部会の今後の活動について
6. 水族館部会の部員選定ならびに今後の活動について

II 教育普及委員会

1. 関係省庁との連絡強化
環境省との連絡を密にとり、効率的・効果的な協力体制で社会への普及啓発に努める。
2. 委員会内部事業の見直し
委員会各部の事業・作業については、定例事業については遺漏なきよう実施することに加え、進捗の見られない事業・作業については進め方の再検討を行う。
3. 新飼育ハンドブックの再編纂を行う。

III 安全対策委員会

1. 安全対策部
動物飼育・管理に係る情報収集ならびに安全対策ガイドラインの検討・作成
2. 災害対策部
災害対策マニュアルに係る情報収集ならびに基本ガイドラインの検討・作成
3. 感染症対策部
 - 1) 感染症対策部検疫マニュアルに係る情報収集ならびにマニュアルの作成

IV 生物多様性委員会

1. 国際保全事業部
 - (1) 展示生物の継続的確保に関する協会の世界戦略に関すること
 - 1) アジアならびにその周辺地域との連携強化
 - 2) 国際的なコレクション計画（ICAP）への対応
 - 3) ZIMS の普及推進
2. 保全戦略部
 - (1) 配偶子バンク事業の実施体制についての検討

(2) 種保存事業の実施に係る助言及び支援

(3) 動物名検討業務

3. 種保存事業部

(1) JCP の推進

V 地域委員会

加盟園館の活性化及び社会における役割を達成することを目的とする事業を効果的かつ、効率的に進めるための検討を行う。

VI 協会事務局

1. 事務局内作業の効率化、保存文書の電子化を推進する。